

保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい。

・ A B C Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください

A	: たいへんよい
B	: よい
C	: 一部検討を要する
D	: 改善を要する

保育所・こども園名 福井認定こども園

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念、園の保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している	A	A
評価の根拠 コロナ対策で職員会議の折保育理念や方針、目標を声に出しての唱和は控えているが一人一人がきちんと理解している 今後の改善・充実 新規採用者に対しても、保育理念、方針、目標等をきちんと説明し理解につなげていく。		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	A	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A	A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	A	A
④ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A	B
⑤ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	A
⑥ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	A	A
⑦ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	A	A
⑧ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	A	A
⑨ 保育についての話し合いをよくしている	B	A
⑩ 保育士自身が楽しんで保育をしている	A	A
⑪ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B	B
評価の根拠 担当箇所については責任を持って対応し進めているが業務の変更などにおいて適切な指示ができていない場合がある。 今後の改善・充実 業務分担を明確にし、全員が園の全体を把握ができるようにすることで組織の一員としての士気を高めていく。		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	A	A
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	A
評価の根拠 コロナ対策もあり、特に園児の健康面への配慮を行った。 今後の改善・充実 コロナや感染症を含め健康面への意識が薄れることなく、丁寧に対応していく。		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	A	A
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	A	A
評価の根拠 コロナ対策のため実施回数は減ったが、その時々でできる最善を尽くしている。 今後の改善・充実 今年度はその都度であったところを、コロナを見込んだ年間行事を計画していく。		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	A	B
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	A	B
評価の根拠 畑の野菜を取り入れた献立で旬のものを取り入れたり、みそづくりたくあん漬けなどの保存食に触れたりしている。 今後の改善・充実 コロナ対策を行う中でも楽しく食事ができる雰囲気づくりを行う。		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	A	A
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	A	B
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	B	B
評価の根拠 コロナ禍において全員での打ち合わせや会議の場や時間に制限があった。 今後の改善・充実 職員会議など月一にはじっくりと話をする場を設け、情報の共有を図る。		

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について		
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	A	A
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A	A
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	A	A
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	A	A
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	B	B
評価の根拠 トイレのスリッパは保育士が率先して行う中で子どもにも伝えている。		
今後の改善・充実 午睡時などに園全体で清掃時間を設けるなどしながら園内の美化に努める。		
8. 研修・研究について		
① 実践研究に取り組み、日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させている	A	B
② 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	A	A
③ 研修報告を園内で実施している	A	A
評価の根拠 実践研究の担当者が中心になってしまい、全体に詳しい周知ができないことがある。		
今後の改善・充実 園全体での取り組みとして職員間で情報を共有するとともに、保育に反映させていく。		
9. 情報について		
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	A	A
評価の根拠 個人情報、守秘義務等については会議等に周知している。		
今後の改善・充実 新規採用者に対してはきちんと指導をしていくとともに、在職者に対しても繰り返し意識できるよう周知していく。		
10. 設備について		
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	A	A
評価の根拠 保護者に園内に入ってもらえないため、玄関での掲示等に切り替えて対応した。		
今後の改善・充実 掲示物を整理しながらより見やすくなりやすい情報の発信を工夫する。		
11. 保護者支援について		
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	A	B
② クラス懇談や個別懇談を行っている	A	B
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	A	A
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A	A
評価の根拠 玄関での保護者対応やクラスが集まる懇談会の中止などで子どものことを伝える機会が減少した。		
今後の改善・充実 コロナ対策で時間や日時を分けるなどの工夫の中で参観などを実現し良かった面もあるため、さらなる充実を図る。		
12. 開かれた保育所づくりについて		
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	A	A
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	A	A
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	A	A
④ 中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している	A	A
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A
評価の根拠 コロナ禍においてもできるだけ園への受け入れ態勢を整え対応している。		
今後の改善・充実 子育て相談については、職員一人一人のスキルアップを図っていく。		
13. 情報発信について		
① えんだより、すこやかねつと等で、情報発信に努めている	A	A
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している	A	A
評価の根拠 コロナ禍で保護者が園内に入ることができない分、子ども達の様子を丁寧に発信した。		
今後の改善・充実 コドモンを利用することで、保護者により便利に、またタイムリーに情報の発信を行っていく。		